

ア・授業の約束

- ① 休み時間のうちに、授業の道具を机の上にそろえます。授業に必要なものは、机の中にしまいます。
- ② チャイムが鳴り終わると同時に、学級代表委員が号令をかけ、授業を開始です。
- ③ 授業に関係のないおしゃべりはしません。発言は先生の指示があってからにしてください。
- ④ 筆箱の中に、鉛筆（シャープペン）・消しゴム・赤ペン・黄色のマーカーペンを必ず入れておきます。
- ⑤ 宿題が出たときは、必ず必要な教材を持ち帰ってください。
- ⑥ 忘れ物に注意。忘れた場合は必ず先生に報告します。
- ⑦ 先生が説明しているとき、誰かが発表しているときは、そちらを向いて聞くことに集中します。
- ⑧ 板書（先生が黒板に書いたこと）は、必ずノート・プリントに書き写します。

イ・その教科の授業で「大切なこと」

様々な知識を暗記することだけが社会科の勉強ではありません。暗記した知識を活用し、社会にある問題を深く考え、自分なりの考えを導き出す論理的思考過程が大切です。

ウ・ノートの作り方、取り方

- ① 先生が黒板に文字を書くとき、大切なところは黄色で書きます。ノート・プリントには、赤ペンで書きましょう。重要点が一目でわかり、定期試験等でノートを活用しやすくなります。
- ② 余裕のある人は、板書を写すだけでなく、先生の説明や、疑問に思ったことなどを余白に書き込むと、学習の効果が上がります。
- ③ ノート・プリントは各学期末にチェックを行い評価の対象とします。しっかりと整理しておくようにしましょう。

エ・家庭学習の仕方

- ① 社会科のあった日は、色ペンで書かれたところを中心に学習内容を復習しましょう。疑問等があれば先生に質問し必ず解決するようにしましょう。また、副教材のドリルを解き直すのも力になります。
- ② 地図帳をながめたり、歴史の本（漫画もあり）や新聞を読んだり、TVのニュース番組や旅番組を見たりするのも、社会科の勉強になります。世の中のいろいろなことに興味を持ち、考えてみましょう。

オ・学習の評価について

評価は次の3観点です。授業中の行ったすべてが評価対象になります。

「知識・技能」 … 授業中の作業、提出物、ノート・プリント、定期考査など

「思考・判断・表現」 … 授業中の発言・発表、提出物、ノート・プリント、定期考査など

「主体的に学習に取り組む態度」 … 授業態度、授業中の発言・発表、提出物、プリント、家庭学習など

カ・その他 物事を理解する基礎は読解力です。読み、書く行為をおろそかにしないようにしまし

う。